



男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.48
2015. 8月号

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

男

女

それぞれが できることを



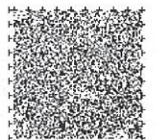
だれでもいつかは介護に直面します。

そのときになってあわてないように、情報はどこでえられるか、夫婦でどのように助け合うか話し合っておきたいものですね。

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。

専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。

専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



Q 男性30人に聞きました。介護どうする？

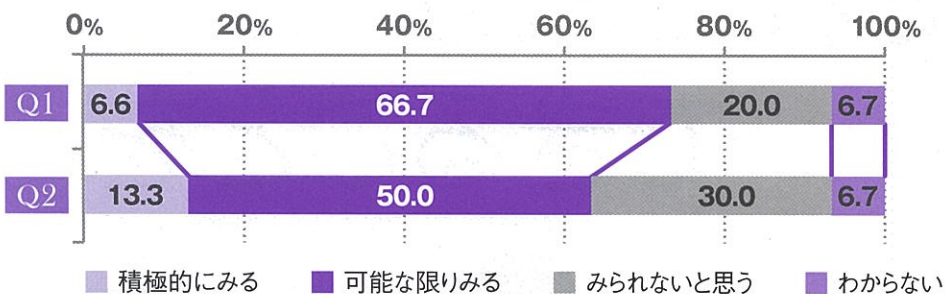
【調査概要】福生市および近隣市に在住
在勤の男性30名にアンケート用紙による
調査を行いました。
(30代3名、40代12名、50代8名、
60代6名、70代1名)

全回答者の7割超が「自分の親の面倒をみる」と回答しています。
また、「妻・パートナーの親」の場合も、6割超が面倒をみると回答！

妻・パートナーの親も可能な限り面倒みたい！

Q1 自分の親が要介護・要支援になったら、面倒をみますか？

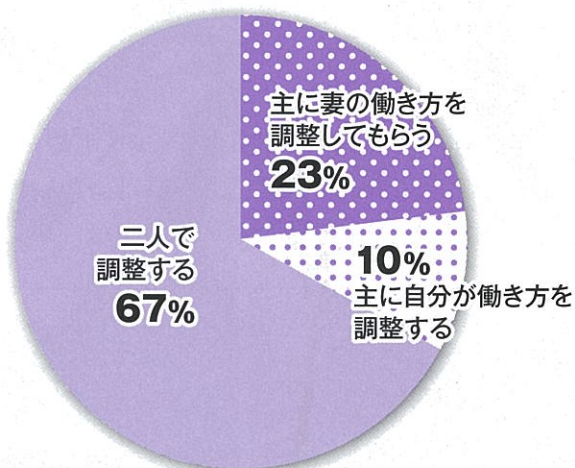
Q2 妻・パートナーの親が要介護・要支援になったら、面倒をみますか？



6割以上の男性が、妻の親も、積極的に、あるいは可能な限り面倒をみると心強い回答。しかし、自分の親と比べると割合が下がります。「相手が気をつかうと思う」「自分が介護をすると稼ぎ手がいなくなるから」などの理由が考えられます。

夫婦でやりくりする！が多数派

Q3 もし共働きだったら、親が要介護・要支援になったときどうしますか？



夫と妻、「二人で調整する」という回答が最も多いという結果に。現実には、介護負担の多くを女性(妻・嫁・娘)が担っているものの、気持ちの上では男性も、「介護は夫婦二人で」と考えていることがうかがえます。

妻がやりくりするのは仕方がない派

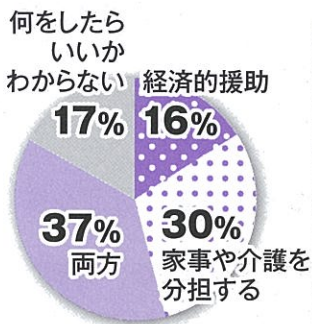
- 介護される方々の意識に「娘・嫁」にみてもらいたいという気持ちがあると感じている。(60代 フルタイム)
- 介護と収入を得ることの両立が困難な社会である。(50代 フルタイム)
- 勤めている割合が男性より女性のほうが少なく、時間的制約が少ないため仕方がない。(50代 フルタイム)
- 共働きだが妻の親の介護は妻が中心。たまに私も介護をするが、私には気を遣うようだ。(50代 フルタイム)

男も担う派

- 男性には男性にしかできない面もあると思う。(60代 無職)
- 親が嫌でなければ、両性でみるべきだと思う。(70代 無職)
- 男性側の職場の理解などが世の中全体で変わってくれば、男性も介護を負担していけるのでは。(40代 フルタイム)
- 一緒に実家や施設へ伺うなど、運転手役でフォローしていくのが、介護への一歩と考える。(60代 フルタイム)

役割分担は、お金だけ？

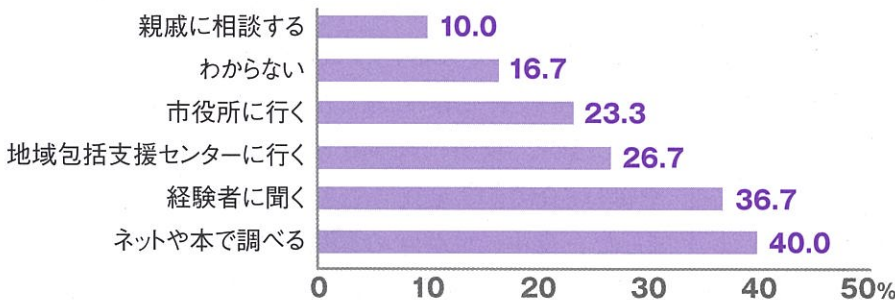
Q4 もし介護負担を担うことになった場合、何をしますか？



経済的援助と家事や介護の「両方」を担うとの回答が37%と、最も多くなりました。年代別にみると、50代は「経済的援助」が、40代は「家事や介護を分担する」が一番多いという結果に。教育費や住宅ローンなどお金のかかる40代は、お金よりも実働で、比較的余裕のある50代は実働よりもお金、ということでしょうか。

介護情報は、ネットや経験者から

Q5 介護についての情報は、どうやって集めますか？(複数回答)



- 兄弟とは色々な事で情報交換が必要だと感じる。(60代 フルタイム)
- 介護の仕方など学べる場があればありがたいと思う。(50代 フルタイム)

Q6 地域包括支援センターを知っていますか？



「地域包括支援センター」を知っている人は、4割弱という結果に。地域住民の医療・介護・福祉などの相談窓口として、ぜひ皆さんに知っておいてほしいと思います。

まとめ

超高齢社会になり、するもされるも介護なしの人生は考え難くなりました。介護に携わっている人も、まだ先のことを思っている人も、「介護しやすい環境づくり」が必要だと感じることがわかりました。これを機会に私たち一人ひとりができることについて、身近な人と話し合ってみませんか？

介護の現場から



男性にできることは
たくさんある！

有限会社アシスト
ホームヘルプステーション福生
介護福祉士 塩野 良氏

美容師から介護の職に転職し、真っ先に感じたことは、介護の現場は女性を中心で、男性の参加が少ないということです。これは男性が外で働き、女性が家庭を守るという考え方の延長に介護が組み入れられていることが大きな要因だと思います。

現場に行くと階段の昇降時の歩行介助や移乗の介助など力がある介護や、買い物代行・片付け・掃除や悩み事の聞き手となることなど、男性でも色々なことができることに気が付きます。人は必ず年を取ります。いつかは自分も介護する、されるかもしれないことを認識し、その時が来てからバタバタするのではなく、今から一つでもできることを多くしておくとうよいと思います(特に男性は)。

本当に必要なことは、介護という言葉にマイナスイメージを持たず、男女の区別なく得意分野を生かしながら、少しでも参加するという気持ちではないかと思っています。

介護の
情報はここ！

☎ 地域包括支援センター
福生

042-551-1537(直通)

☎ 地域包括支援センター
熊川

042-510-2945(直通)

☎ オレンジカフェ ふっさ

042-552-5027

(介護者相互の交流会)

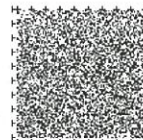
● 「仕事」と「介護」の両立ポータルサイト
(内閣府)

<http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/>

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。

専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。

専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。





男の生き方 女の生き方

福生市在住の方々に聞いた、それぞれの男性観、女性観。



男の生き方

妻にはいつも 感謝を持って接しています

80代 男性 福生在住

福島県郡山市須賀川で10人兄弟の5人目に生まれ、時計の大手部品メーカーの下請け会社に就職しました。当時はまだ、学歴より経験が優遇された時代で、仕事は教わるものではなく、先輩の技を見て覚えました。世間のことをまだよく知らなかった私は、「～どん」が丁稚奉公で勤め上げた職人の呼び名と知らず、先輩を「清どん」と呼んで、こっぴどく叱られました。

会社では開発など新しいことにも携わり、仕事の進め方や人材育成など、勉強会や社外の講習などにも積極的に参加できてよかったと思います。

50歳になる頃、会社から社員の人員整理を言い渡されました。若い社員の未来、中堅社員の経験などを考えて、自分の班25名のうち、55歳くらいの社員4名と私が退職することになり、妻と二人で東京に引っ越しました。元々職場で知り合いましたが、お見合い結婚が一般的だった当時、好き同士で一緒になるのは珍しく、周りから「くつつき夫婦」と呼ばれました。妻は賢くて気が利くので、何か問題があれば話し合います。相手を信頼して任せたら、口出しはしません。いつも感謝をもって接しています。

若いうちは苦勞もあるかもしれませんが、どんな経験もプラスに考えていけばいいと思いますよ。

女の生き方

戦争も乗り越え まだまだ現役で

90代 女性 志茂在住

誰よりも多く薪を背負って山を下りるような、男勝りで負けず嫌いの子どもでした。幼い頃は父が怖い存在でしたが、運動会は必ず応援に来てくれました。妹や弟の面倒を見ながら学校に通う生活でした。

卒業してバス会社に勤めました。数年後、戦争が始まり旋盤で飛行機の部品を作りました。軍需工場は空襲の標的で、屋根に弾が刺さったり畑やそこら中逃げ惑ったり、怖かったですね。結婚相手として紹介された夫は、三日後にまた出征し、私は一人工場の寮で暮らしました。出征と帰還を繰り返しましたが、無事に終戦を迎え結婚しました。祖母や母は80代まで元気に生き、私はその年齢を超えました。夜中に目が覚めると、明日は何をしようかと考えています。食事はお嫁さんに作ってもらいますが、身の回りのことは自分でやります。踊りは、30歳ごろに習い始めてこの年までやり通しました。好きなことができる毎日が幸せです。

目・歯・耳などは悪くなってきて、歩くのもゆっくりにりましたが、のびのびと常に前向き、戦争も乗り越え、現役で趣味の踊りに打ち込んでいます。

二十数年間、嫁や孫達と喧嘩をしたことがありません。お互いに我慢をしていると思います。それが家族円満の秘訣ですかね。

編集員を募集しています!

編集に興味がある方、何かやってみたい方!お待ちしております!ご意見、情報もお待ちしております!

電話:新井まで!

042-551-1590

劇団東少 ファミリーミュージカル「シンデレラ」

9/27

開演 14:00
開場 13:30

チケット
好評
発売中!!



福生市民会館大ホール

全席指定2,500円(税込)

※3歳以上は
チケット必要

チケットを5組10名様にプレゼント!

往復はがき往信面に①お名前②住所③電話番号をご記入の上、〒197-0011 福生2455「あなたとわたし シンデレラチケットプレゼント係」宛にお送りください。8/31必着。応募多数の場合抽選。抽選にもれた方には優待の返信はがきをお送りいたします。

お申込・お問合せ
福生市民会館
042-552-1711

市民編集員 ○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝
○濱原幸恵 ○山下光男 ○松尾洋子 ○森田旦子
作製:(有)セイビ印刷所 協力:石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.48 2015年8月号

発行:福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

